



まきび通信

校訓：夢へ みんなで まっすぐに

岡山県立倉敷まきび支援学校

学校だより

令和5年度 5月号



【笑顔も 泣き顔も 怒った顔も すてきなあなた】

4月最後の週末に、とある少年少女合唱団の演奏会に行きました。当日はマウスシールドを着けての演奏でしたが、楽しそうに歌う子どもたちの表情も楽しみながら鑑賞しました。リーダー団員の挨拶に、「コロナ禍での活動中止後に練習が再開されたとき、歌うことの大切さ、すばらしさを改めて感じました」という言葉があり、この3年間の彼らの活動や気持ちを考えると胸に迫るものがありました。

さて、「メラビアン法の法則」という心理学上の法則があります。これは、人と人とのコミュニケーションにおいては、言語情報が7%、聴覚情報が38%、視覚情報が55%のウェイトで影響を与えるという説です。話の内容、言葉の意味を指す言語情報が与える影響は最も少なく7%。話すスピードや声のトーンなどを指す聴覚情報が与える影響は38%。表情やジェスチャーである視覚情報が与える影響は最多の55%。言葉そのもので伝わることももちろんありますが、穏やかに話すか、怒鳴りながら話すか（聴覚情報）、笑顔で話すか、無表情や怒って話すか（視覚情報）によって、印象がまるで異なり、そうした話し方の違いで同じ内容でも相手への伝わり方は大きく変わります。

コロナ禍のこの3年間、学校では基本的に常にマスクを着けていました。大人の私たちですら、なかなか人の顔が覚えられなかったり、言葉が聞き取りにくくやりとりにも不便があったりしました。何より顔の半分をマスクで隠しているの互いの表情が分かりにくかったです。

本校の児童生徒の中には、もともと相手の態度や表情を読むことが苦手な子どもがいます。子どもたちにとって大切な学習、大好きな活動をたくさん制限せざるを得なかった3年間は、彼らのコミュニケーションの成長にとっても大きな損失だったと改めて思っています。時を戻すことはできませんが、これから少しでも様々な経験を取り戻し、豊かなやりとりを育てられるようにしたいです。マスクを外すことに抵抗があるお子さんもいらっしゃると思いますが、安全を第一にしながら、素敵な笑顔、豊かな表情がたくさん輝く学校生活を送れるよう努めてまいります。

5月8日からの学校生活については、別途お知らせいたします。どうかご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

(校長 梶谷 淳子)



授業参観・懇談・PTA 総会ありがとうございました

4月26日に久しぶりに全校での参観日・懇談・PTA 総会がありました。子どもたちの様子はいかがでしたか。新しいクラスにも慣れ、授業では、はりきって力を発揮している姿を見ることができたと思います。また、PTA 総会への参加ありがとうございました。総会では、校内での夏祭りを廃止する代わりに、7月15日に真備支所周辺で行われる真備・船穂総おどりに希望者が参加し、イベントの雰囲気を楽しめるように支援をする方向で決まりました。ご協力よろしくお願いいたします。

暖かくなってきて、木々や草花の花が美しい季節になりました。「桜梅桃李」という言葉があります。花には、みなそれぞれ違った美しさがあって、桜より梅がきれいだとか、桃よりスモモの方が美しいという比較は無意味であるという意味だそうです。

一人ひとりに応じた目標に向けて、スモールステップで指導していくことで、「自分でもできるんだ!」という、日々の生活の中で、今まで分からなかったことが分かるようになった喜びや、出来なかったことが出来るようになった喜びをいっぱい感じてほしいと思っています。そして、そのがんばり、その子なりのよさを見付け認めていくことで、その子のもつ可能性を最大限に伸ばしていきたいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。

ホームページでは、子どもたちの学校生活や学習の様子も発信していますので Facebook とあわせてご覧いただき、「いいね!」やフォローでの応援をお願いいたします。

(副校長 小野 浩)



HP



Facebook